

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	食事の記録がなく、適切な献立であったか、利用者に喜ばれたか等の確認ができていない。	入居者への聞き取りや検食職員の感想を元に、より美味しく楽しめる食事の提供に努める。	検食簿を作り、毎食の気づきや入居者職員の感想を記録し、次の献立の参考にしたり、入居者の好みの把握に生かす。	1ヶ月
2	45	入浴の張り紙を浴室にしているが、過去のもので実施できていない。	入浴剤の張り紙のようにできないが、替り湯を再開し、楽しく充実した入浴時間を過ごせるようにする。	毎月の替り湯を再開する。草木の利用は継続し、徳時は市販の入浴剤も使用し気分転換が図れるようにする。ご家族にも替り湯について紹介する。	1ヶ月
3	10	今年度はご家族へのアンケートを実施できていないため、電話や面会時以外の家族の意向を聞き取れていない。	ご家族に無記名のアンケートを実施し、直接ご意見を言いにくいニーズ把握に努める。	次回の文章送付時に、アンケートを同封し記入後返送していただく。アンケート結果と対応策については、コロナ感染症予防の為文書で各家族に送付する。また、入居者にも、同内容の説明を行う。	2ヶ月
4	54	数名面会時に居室の整理をしていただいているが、面会制限や窓越し面会で居室内をご家族が確認される機会がない。	活動や行事の写真は、定期的に送付しているが、居室内での様子もご家族にお知らせする。	プライベートな空間の写真(居室内と居室で過ごされる入居者の様子)をご家族に送付することで、今以上にすみれで過ごされる様子が伝わり、ご家族の安心につながるのではと思われる。	2ヶ月
5	49	コロナ感染症により外出の機会が減っており、楽しむ機会や刺激が減っている。	できる限り外出の機会を作り、気分転換を図る。	少しずつ行動制限が緩んできているため、感染予防に十分気を付けて外出の機会を作っていく。現在は、花見や紅葉狩りなど数回の外出にとどまっているが、近隣へのドライブ等を企画していく。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。